

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



市役所で行われた派遣職員の出発式

8月2日から9月1日まで、計15人の総社市職員が、令和2年7月豪雨で被災した熊本県人吉市へ災害支援に行きました。従事した業務は、約300人の市民が避難していた人吉スポーツパレスでの避難所運営です。施設内清掃、食事の配布、避難者の出入り時の受け付け、物資管理などを行いました。新型コロナウイルス感染症対策のため、1日3回の施設内消毒や被災者の検温も徹底して実施しました。避難者の多くは高齢にもかかわらず、猛暑の中、早朝から自宅の片付けに出掛けていました。作業が思うように進まないのか、毎日

外出する人もいました。そんな状況でも被災者の皆さんは穏やかで落ち着いていて、たびたび感謝とねぎらいの言葉をいただきました。人吉市職員の皆さんも、他市の支援で避難所業務の負担が軽くなったと仰ってくださいました。人吉市は市街地の被害が最も大きく、復興に時間がかかるように見受けられました。西日本豪雨での経験を生かし、これからも支援ができればと思います。(人吉市への派遣職員)

● 私たち「あい・あい」は、子ども達の預かりや育児相談などのサポート事業を行っています。子どもとの関わりが主な活動ですが、保護者にも自分だけの時間をもってもらえたらと思います。今年「日曜日は『あい・あいサロン』で朝活!』という新事業に取り組んでいます。大人の癒やしをテーマに、ポーセラーツやストレッチャなどさまざまな講座を体験できるサロンです。

新型コロナウイルスの影響で多くのイベントが中止になる中、サロンも中止すべきか直前まで迷いました。しかし、緊急事態宣言が解除されたため、感染予防対策を強化して6月7日と7月5日に開催。参加者からは、「ずっと家で子どもと一緒にいたので、気分転換になった」などの声をいただけ良かったです。3回目は、11月1日(日)に開催予定です。「おだし先生のやさしい食卓づくり」と「すっきりプリンパクと癒やされて帰っていただける」と思います。(NPO法人保育サポート「あい・あい」)



1回目で行ったポーセラーツの講座。陶器に好きな模様の転写紙を貼る



総社市内の空き店舗や空き家を活用した創業を応援する「そうじゃ商人(あきんど)応援事業」。物件を改修して新たに事業を行う創業者に対して、予算の範囲内で補助金を交付しています。

このコーナーでは、制度を活用して市内で創業した事業所を紹介します。

申請先・問い合わせ 魅力発信室 (☎② 8308)

No.18 学生服リユースショップ さくらや

家計を抑えたい保護者のための、学生服専門リユースショップです。卒業や転校によって不要になったり、成長しサイズが変わったりした制服などを買い取り、補修やクリーニングをして販売。保育所・幼稚園・認定こども園の通園服、小中学校や高校の学生服・体操服などを取り扱っています。

住所 駅前一丁目4-6
時間 14:00～19:00
営業日 毎週火曜日
電話 070-1539-1308



No.19 創伸建設株式会社

「豊かな未来をカタチに」をモットーに、地域と人の暮らしに寄り添う建設会社です。住宅・店舗・マンション・工場・民間施設といった建設工事の設計や施工、リフォームなど、あらゆる工事にワンストップサービスで対応。土地活用の提案や賃貸物件・土地売買の仲介など、不動産事業も行っています。

住所 駅南一丁目35-28
時間 8:00～17:00
定休日 日曜日、祝日
電話 31-8200



消費生活 **ワンポイントアドバイス** ～消費生活に関するよくある事例にお答えします～

Q 通信販売のお試し価格で注意することは？

スマホで「ダイエットサプリが初回お試し価格500円」という広告を見ました。注文しようと思いますが、注意することはありますか。

A 定期購入が条件となっていないか確認を

定期購入が条件であることに気付かず、1回だけのつもりで購入してしまった人からの相談が多数寄せられています。商品に同封の納品書に「2回目は10日後に発送」などと記載があるのを見て、初めて定期購入と認識する人が多いです。解約しようと連絡したもののつながらない、初回のみで解約したら高額な通常価格を請求されたといったケースもあります。通信販売にはクーリングオフ制度がありません。商品を購入する前に、定期購入が条件になっていないかなど契約内容をよく確認しましょう。

消費生活相談員からのワンポイントアドバイス

- ・「お試し」「初回無料」は要注意です
- ・広告の内容や申し込みの最終確認画面を保存しておきましょう
- ・インターネットを含む通信販売にはクーリングオフ制度はありません

不安に感じたり対処に困ったりしたら、市消費生活センターにご相談ください。
問い合わせ 市消費生活センター (☎② 8527、交通政策課内)

そうじゃ特産商品シリーズが当たる

広報クイズ
今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q 市内の登録店舗でテークアウトする際に使用してきた、お持ち帰りDEお得券。発行総額は1億〇〇〇〇万7000円でした。

【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などには、担当課から連絡することがあります。

【応募期限】 11月2日(月) 【8月号の答え】 復活券
【8月号の当選者】 平田充宏さん(宍粟)、小池定行さん(宿) [応募総数 17件]

【応募先】 総社市役所市政情報課 〒719-1192 中央一丁目1番1号 ☎ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数 (令和2年9月1日現在)

人口 69,428人(前月比+73人)
(うち外国人登録1,693人 前月比-18人)
男 33,835人(前月比+18人)
女 35,593人(前月比+55人)
世帯数 28,544世帯(前月比+60世帯)

市民憲章

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るく家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ